科目ナンバリング			
授業科目名 <英訳>	教育学Ⅰ Pedagogy I	担当者所属 職名・氏名	

群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	月3/月5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

近代日本における教育の形成とその問題点を考察する。歴史的な視点にたって近代日本の教育を検討し、そのことを通して、現代の教育が抱えている諸問題を追究していきたい。

[到達目標]

日本の教育や子どもの歴史を、文化、政治、経済などと関連づけながら、幅広い視点から理解する。
現代の教育が抱えている諸課題を歴史的視点にたって考察していく能力を養う。

[授業計画と内容]

近代教育は、単に教育の領域のみでとらえうるものではなく、歴史、文化、政治、経済などと密接に関連している。それゆえ本講義では、広く社会的な観点から教育という営みを検討していくことにしたい。そのことを通して、教育というシステムのあり方やそこに存在している課題などについて考察していく。具体的な授業内容は以下の通りであるが、受講者の理解の状況によって、若干、変更する場合がある。

1．生活を通して学ぶ【1週】
2．文字学習の必要性【1週】
3．義務教育の成立【2週】
4．国民の形成【2週】
5．人材の育成【2週】
6．ジェンダーによる教育の相違【1週】
7．競争【1週】
8．一斉授業と学級【1週】
9．子ども中心主義【1週】
10．家族における教育【2週】

フィードバックの方法は別途連絡します。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

中間レポート（３０%）と学期末レポート（６０%）を中心に、平常点（１０%）を加味して成績評価を行う。
レポートは到達目標の達成度に基づき評価する。また独自の視点からのレポートに対しては高い点を与える。レポートの提出、授業の出席は必要条件であっても十分条件ではない。

教育学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

教育学Ⅰ(2)

[教科書]

使用しない
資料としてプリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

教育に関する幅広い知見を獲得できるように、普段から教育に関する興味・関心を養い、教育に関する書物に親しんでおくこと。授業中に指示した参考文献の中から興味があるものを読むこと。
また身近にいる年配の方に昔話を伺ったりして「歴史」そのものを体感し、そこから現代社会や教育について考える機会をもって欲しい。

[その他（オフィスアワー等）]

授業終了時に毎回、意見や質問を書いて提出してもらうので、積極的に授業に参加すること。